

障害のある子どもを持つ親がつながる講座

特定非営利活動法人ビレッジ

事業費 138,365 円
助成額 110,000 円

●当初の課題・事業目的

コロナ禍においては障がいのある子どもを持つ親同士が繋がる学校や園での行事が縮小され、日常生活や進路選択についてなど、気軽に話したり情報を得る機会が失われています。そうした親の孤立が子どもへの十分な療育や進路選択にも影響することが危惧されます。そこで、親同士が子どもたちの将来の仕事や生活のことを学び合い、繋がりを作り、これから先に一家族では解決できないことでも、それぞれの体験や知見を持ち寄り、子どもにとって最適な選択ができる仕組みづくりにつなげます。



代表理事 出路 賢之介

●事業概要

障がいのある子どもたちのママとパパが「いまから知っておきたい」講座を実施

■第1回『18歳からの進路先はどんなところ?』@西宮市市民交流センター

2022年12月12日(月) 10:30~12:30 参加者数: 51名(会場34名、オンライン17名)

■第2回『パパも知っておきたい子どもたちの18歳からの進路選び』@西宮市市民交流センター

2023年1月21日(土) 19:00~21:00 参加者数: 44名(会場13名、オンライン31名)

■第3回『障害年金の仕組みと準備』@西宮市市民交流センター 講師: 増田繁男(社会保険労務士)

2023年2月2日(木) 10:30~12:30 参加者数: 66名(会場23名、オンライン43名)

■第4回『18歳からの生活と余暇の過ごし方』@西宮市市民交流センター 講師: NPO法人TOPO

2023年2月27日(月) 10:30~12:30 参加者数: 39名(会場21名、オンライン18名)



●事業の成果・工夫した点

講座は芦屋特別支援学校進路部や社労士、移動支援事業者の協力を得て企画し、より具体的な内容とすることができ、アンケートでは各回で78~100%の参加者から満足したと回答が得られた。また普段は講座等に参加機会の少ない父親が参加しやすいよう第2回は土曜日に開催し、会場参加者の7割以上を父親が占めた(他は9割以上が母親だった)。

●苦労した点・今後の課題

オンラインは簡易な機材しか用意できず、音声クリアでないことで参加者満足度が下がる面もあった。周知においては、西宮市の協力のほか児童通所支援事業所連絡会、北山学園のご協力も得てチラシを配布し、4回の講座を通して実質131名に申し込みいただいたが、地域の特別支援学級に子どもが通う親には口コミ頼りとなり、今後の課題と感じる。

●代表者の感想

参加者からは「講座を受ける度に将来のビジョンが具体的に見えてきた」「進路の漠然とした不安がほぼなくなった」「進路について早めのリサーチが必要だと思った」「移動支援の具体的な利用イメージが持てた」「障害年金に必要な準備がわかった」「親として知りたかったことにそった内容だった」といったコメントがあり、講座の企画意図通りの成果が得られ、今後も様々なテーマで企画していきたい。